

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成26年度病害虫発生予察注意報第2号について

平成26年度病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

平成26年度病害虫発生予察注意報第2号

平成26年9月17日

宮崎県

病害虫名 トビイロウンカ（第3世代）
作物名 普通期水稻

1. 発生地域 県内全域
2. 発生程度 やや多～多
3. 発生状況と注意報の根拠

(1) 9月中旬の巡回調査（40地点）における発生面積率87.5%（平年55.3%、前年87.5%）は平年より多、株当たり虫数1.57頭は過去10年間で3番目に多い（図1、図2）。

(2) 地域間やほ場間の差はあるものの、産卵数の多い短翅型雌成虫（写真1）の発生が多い傾向にある。株当たり虫数0.47頭（平年0.13頭、前年0.31頭）は平年より多で、大発生した前年同期よりも多い（図3）。今後9月下旬頃に予測されている第3世代幼虫の出現に伴い、密度が急激に増加し、短期間に坪枯れするおそれがある（表1）。

(3) 鹿児島地方气象台が9月11日に発表した向こう1か月の気温（9月13日～）は、高い確率が40%と予想されていることから、本種の増殖に好適な状況がしばらく続くと考えられる。

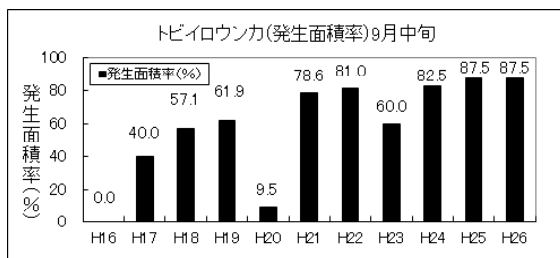


図1. 発生面積率の推移

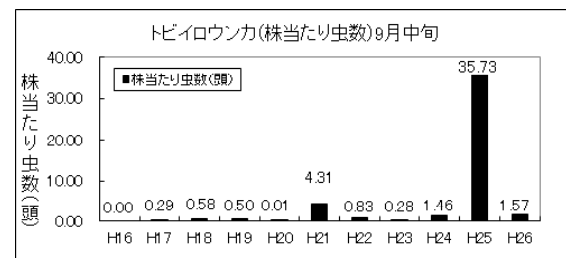


図2. 株当たり虫数の推移

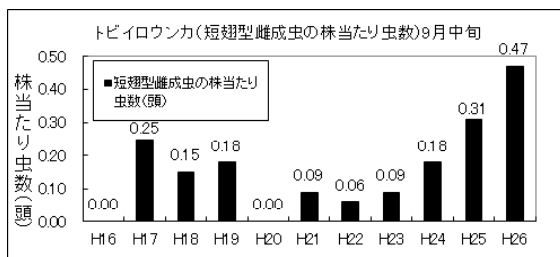


図3. 短翅型雌成虫の株当たり虫数の推移



写真1. 短翅型雌成虫（腹部が大きく、産卵数は長翅型よりも多い）

表1. 9月中旬の巡回調査におけるトビイロウンカの発生状況

区分	調査地点数	発生面積率 (%)	株当たり虫数 (頭)	短翅型雌成虫の株当たり虫数 (頭)
全県	40	87.5	1.57 (0-11.9)	0.47 (0-2.6)
東諸県	4	100	2.46 (0.08-9.1)	0.75 (0-2.6)
北諸県	10	100	3.32 (0.08-11.9)	0.86 (0-2.1)
西諸県	8	75.0	0.38 (0-0.96)	0.11 (0-0.24)
東臼杵北部	4	100	1.34 (0.28-2.6)	0.50 (0-1.2)
東臼杵南部	6	83.3	0.30 (0-1.04)	0.02 (0-0.08)
西臼杵	8	75.0	1.20 (0-3.7)	0.08 (0-0.36)

※ () は最小値と最大値の幅

4. 防除上の注意

- (1) トビイロウンカの防除適期は幼虫期前半であり、9月第6半旬～10月第2半旬頃（都城市で7月14日飛来の場合は9月28日～10月9日、別紙：県内トビイロウンカの発生世代予測を参照）と予想される。防除を行う際は地域毎の防除適期内に行うことが望ましい。ただし、ほ場によって発生状況にばらつきがあることから、ほ場内をよく観察し、幼虫を多数確認した場合は速やかに防除を行う。
- (2) トビイロウンカは株元に生息し、低密度であっても、その後の増殖率が高く坪枯れを引き起こすので、薬剤は株元に十分到達するよう散布する。ただし、薬剤ごとの総使用回数や使用時期（収穫前日数）には十分に注意すること。
- (3) 飼料用稲においては、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」（平成24年3月）及び「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」（平成21年4月20日付け21消安第658号、21生畜第223号関係課長通知、平成25年10月30日一部改正）、「飼料の有害物質の指導基準の制定について」（昭和63年10月14日付け63畜B第2050号畜産局長通知、平成26年1月20日一部改正）に沿って、適期防除に努める。

【その他】

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

<連絡先>

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 斎藤
 TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-2127
 ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

過去のトビイロウンカによる被害状況



写真1. トビイロウンカによる坪枯れ (H25)
(※生息密度が高いスポットを中心に枯れ上がり、被害は徐々に周辺へと広がる)



写真2. トビイロウンカによる坪枯れ (H25)
(※被害がほ場全体に広がり、反枯れ状態となっている)

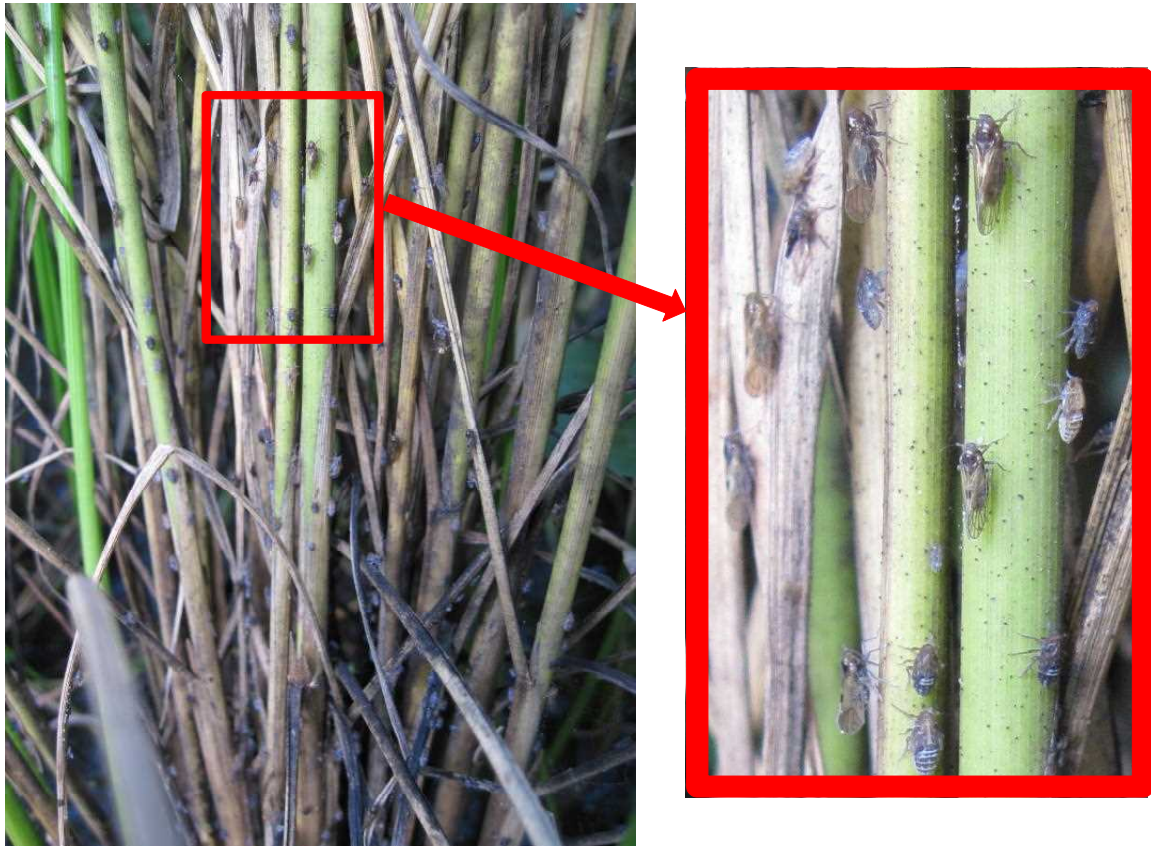


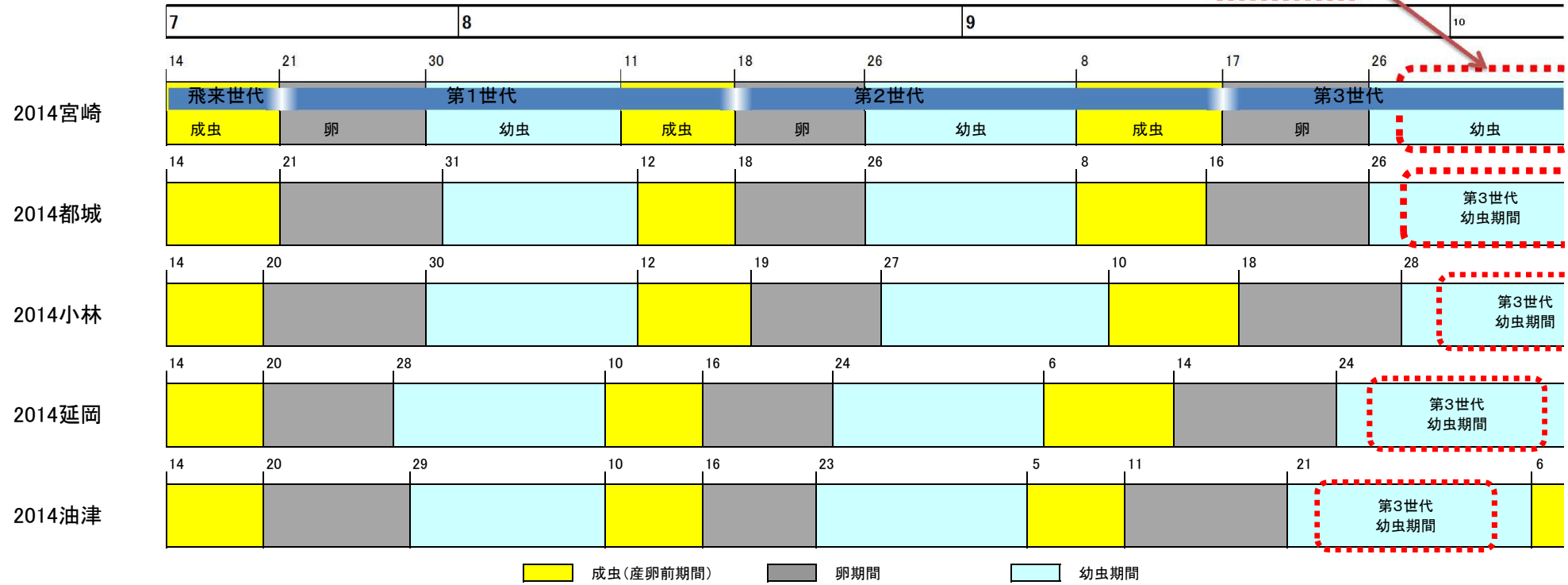
写真3. 株元に集中加害するトビイロウンカの成幼虫 (H24)



写真4. 集中加害を受けた株元の状態 (ススが発生して黒くなっている)

H26 トビイロウンカの発生世代予測(9月16日時点)

防除適期
参考資料



各発生世代別の防除適期は次のように予測されます

地域	飛来時期	第3世代の防除適期
2014宮崎	7月14日	9月28日 ~ 10月8日
2014都城	7月14日	9月28日 ~ 10月9日
2014小林	7月14日	9月30日 ~ 10月12日
2014延岡	7月14日	9月26日 ~ 10月7日
2014油津	7月14日	9月23日 ~ 10月1日

各世代発生始期予測

世代	Stage	地域別発生始期				
		2014宮崎	2014都城	2014小林	2014延岡	2014油津
初期侵入世代	成虫	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日
	卵	7月21日	7月21日	7月20日	7月20日	7月20日
第1世代	幼虫	7月30日	7月31日	7月30日	7月28日	7月29日
	成虫	8月11日	8月12日	8月12日	8月10日	8月10日
第2世代	卵	8月18日	8月18日	8月19日	8月16日	8月16日
	幼虫	8月26日	8月26日	8月27日	8月24日	8月23日
第3世代	成虫	9月8日	9月8日	9月10日	9月6日	9月5日
	卵	9月17日	9月16日	9月18日	9月14日	9月11日
第3世代	幼虫	9月26日	9月26日	9月28日	9月24日	9月21日
	成虫	10月13日	10月14日	10月17日	10月12日	10月6日

※発生世代予測の飛来日は県内におけるトビイロウンカの主要飛来日。気温は9月16日までは本年値、9月17日以降は各地域の平年値を参考にした。
 なお、実際の世代交代は今後の気温の推移等により異なる場合がある。

※発生世代予測は「有効積算温度による海外飛来性害虫の発生予測支援システムVer. 5.02 (S.TERAMOTO)」より算出。